

第8回 若槻総フェスタ 盛大に開催！

「第8回若槻総フェスタ」は、10月19日(日)若槻コミュニティセンターにおいて、一般参加者、清泉大学・清泉大学短期大学部と北部中学校のボランティア、コミわかスタッフなど参加者は1,000名を超え、盛大に開催することができました。

天候不順も心配しましたが、当日は天候にも恵まれ多くの方々にイベントを満喫いただけたと思います。

体育館ステージの総まつりコーナーでは三登山太鼓による演奏、若槻音頭・新町甚句保存会の演舞、神楽保存会による獅子舞の披露、清泉大学短期大学部学生さんのダンス、北部中学校生徒さんの合唱が披露され、アルクマ、づなっち、みずなちゃんも登場し多くの子供さんに囲まれていました。

キッズコーナーは、清泉大学生が制作したハロウィンフォトスポット前での仮装撮影、射的による景品撃ち落



人権に関する 作文発表 (徳間小学校)



コミわかでは人権教育・啓発活動として、小中学校の皆さんに人権に関する作文を寄稿していただいています。今回は徳間小学校の作文2点をご紹介します。この機会にご家庭内で人権について話し合ってみてはいかがでしょうか？ (人権教育部会)

「らしい」を、「個性」へ

徳間小学校 M・S

「男子は、力強いよね。」「女子って、絵が上手だね。」などと物事を性別で決めつけられた事がありますか。もし私がこのような事を言われたら、少しとまどいます。なぜかという「力が弱い男子」や「絵が苦手な女子」は、どうなるのだろうと思うからです。さらに、その人の特技に関わらず「男子らしい」「女子らしい」と性別の「らしさ」を押しつけているような気がするからです。

では、どのようにほめれば良かったのでしょうか。私は、「〇〇君は、力強いね。」「〇〇さんは、絵が上手だね。」と名前でほめれば良かったと思います。みなさんは、どう思いますか。

これらの事から、私は、性別で物事を決めつけるのは、あまり良いことではないと思います。誰かをほめる時は、その人自身の個性として認めた上でほめるべきだと思います。

そうすれば、性別などで、決めつけられ、イヤな気持ちになる人が少なくなる世の中になると思います。

ジェンダー平等について

徳間小学校 H・G

私は、夏休みの自由研究でジェンダーについて調べました。調べようと思ったきっかけは、七月にジェンダー研究の第一人者である上野千鶴子さんの講演会に行ったことです。講演会のテーマは、「若者世代に伝えたいジェンダー平等社会」でした。そして、これまで女性が不平等な扱いをされ、今でもそれが解消しきれていないことが分かりました。

調べて分かったことは、日本は男女格差を示す指標であるジェンダーギャップ指数が世界の中でも低いことです。また、日本の女性は、理系の成績が良いにもかかわらず、理系学部へ進学する人や研究者が少ないことも残念だと思いました。「男性は理系、女性は文系」という思いこみの強さが原因だと思いました。身の周りの人にジェンダー不平等を感じたことはあるか聞いたところ、全員があると答えました。ジェンダー不平等は、身近なものだと感じました。祖母のエピソードを聞くと、昔よりはジェンダー不平等が改善されているものの、今でも課題は多いと感じました。これから、女性の活躍できる場がもっと増えればいいな、と思いました。